



今年もファザーリング・スクールが開校しました！

NPO法人ファザーリング・ジャパンが主催するファザーリング・スクールが今年度も開校し、クラブウからも子育て中の社員が参加しました。

本号では参加者の感想を質問形式で紹介いたします。



ファザーリング・スクールとは？

2024年度の民間企業の男性育児休業取得率は約4割で、当社では7割を超えています。父親が子育てに積極的に関わることが今や当たり前の時代になっています。

その一方で、「父親として子育てをうまくできるか不安だ」といった声も少なくありません。また、母親に比べ育児に関する知識を得たり情報交換できるネットワークを築いたりする機会が限られているのも現実です。「ファザーリング・スクール」はこうした課題を解決し、父親同士がつながり、知識や経験を共有できる場として開校されています。

(人材開発課

河村 僚子 記)

ファザーリング・スクールクラス	講義内容			
	第1回	第2回	第3回	選択科目
①乳児期クラス	“産前産後”のパートナーのカラダとココロの変化をシェアしよう	乳児期だからこそできるパートナーシップと子どもとの絆の築き方	先輩パパと“仕事と家庭の両立の工夫”を共有しよう！	※2つ以上選択※ ・知っておきたい発達障害のこと
②イヤイヤ期クラス	感情的にならない子育て～親子の心を育む、子どもとの向き合い方～	イヤイヤ期を徹底研究！～パパが出来る、心の処方箋～	新米と一ちゃんしゃべり場～イヤイヤ期を先輩パパたちと乗り切る！お悩み相談&実践共有～	・子どものチカラを信じる!“コヂカラ”とは ・絵本あそびクラブ
③思春期クラス	思春期の子どもとの関わり、距離感を共有しよう	受験期の子どもへの関わり方と親の役割	不登校を考えよう	・家族の未来予想図のススメ
④家族経営クラス	これからの家族経営～変わる家族のカタチとその未来～	リアル家族ストーリー～先輩パパママが語る転職と選択～	描こう！家族の未来予想図～ありたい理想の家族に向けて～	第4回 実践！家族経営～やってみたことをシェアしよう～

★DE&I相談窓口・意見箱★

○相談窓口 大阪本社：人材開発課長 / 各事業所：総務課長

* DE&I相談窓口メール：diversity_sodan@kurabo-grp.com

届いたメールには、人事部長・人材開発課長・DE&I推進担当者が対応します。

プライベートメールアドレス等からの匿名での相談も可能です。

※対面や電話、オンラインでの相談をご希望の際も、その旨をメールにてご連絡ください。

○意見箱：diversity@kurabo-grp.com

意見箱を利用し、DE&Iに関する提案・要望等を人材開発課DE&I担当に送ることができます。頂いたご意見は、今後のDE&Iの取り組みに役立てることはもとより、職場環境の改善や人事制度改定の参考にします。

※内容によっては、事前に了承頂いた上で、意見と回答内容を、匿名で、イントラネットのDE&Iサイトに掲載させていただくことがあります。



ファザーリング・スクール参加者

■人事部 人材開発課 さかもと 坂本 かずき 一樹さん

子どもの年齢：0歳

参加クラス：乳児期クラス



Q. なぜファザーリング・スクールに参加しようと思ったのですか？

- A. はじめての子育てで、妻も私も不安なことが多かったので、さまざまな知識を身に付けて妻と協力して子育てに取り組みたいと思ったからです。

Q. スクールの内容で印象的だったこと、役に立ったことは何ですか？

- A. 子育てについて、親が全てやらなければいけないという気持ちが強かったのですが、一時預かりなどのサービスが各市町村の公共施設にあることを講師の方から紹介してもらいました。また、そういったサービスを積極的に使い、親も休むことが大事であると言ってもらったことが印象に残っています。

Q. スクールの参加者から学んだこと、刺激を受けたことはありますか？

- A. 一緒に参加しているパパは意識の高い方が多く、もっとやらねばと思えたので非常に良い刺激になりました。また、先輩パパからは子育てについての知識はもちろん、夫婦で協力して子育てに取り組むコツなども、いくつかアドバイスいただきました。

Q. スクールで学んで、家庭等で実践したことはありますか？

- A. 最近子どもが夜中や朝方によく起きてしまうので寝かしつけのコツを聞いたところ、寝かしつけの時は部屋を1点の光も無いくらい真っ暗にすると寝つきが良くなるよ！とアドバイスもらったので、実践しています。おかげで子どもの寝つきが良くなり、まとまった時間、寝てくれるようになりました。

Q. スクール参加の前後で、何かご自身の変化はありますか？

- A. スクールに参加して同じ乳児期の子どもを育てるパパに出会うことができ、また先輩パパからも経験談やアドバイスをたくさん聞けたので、より能動的に子育てに関わるようになったと感じています。

Q. 育児をすることによる仕事への影響は何かありますか？

- A. 毎日できているわけではありませんが、帰宅後に育児があるので、帰宅時間を自分の中で決めるようにしています。帰宅時間を守るためにいかに効率よく仕事をこなしていくかを、育児に取り組むようになってからより考えるようになりました。

Q. ファザーリング・スクールに参加したこと、またその内容についてのご家族からの反応はいかがでしたか？

- A. 妻からは「産前産後の妻の心身について、また子育てについて情報共有できる機会はなかなかないと思うので、こういった機会を設けていただけるのはありがたいです。これからも一緒に育児を楽しみながら頑張りましょう！！」とコメントをもらいました。

Q. ファザーリング・スクールに参加したことのないパパへおすすめコメントをお願いします！

- A. さまざまな知識を学べることも良いのですが、同じくらいの子どもさんを持っているパパと一緒に受講できるので、子育ての悩みを共有できるし、一緒に解決できることもおすすめポイントです！



ファザーリング・スクール参加者

■企画室 企画課 ^{とくの} ^{ただし} 徳野 禎さん

子どもの年齢：2歳

参加クラス：イヤイヤ期クラス



Q. なぜファザーリング・スクールに参加しようと思ったのですか？

- A. 子どもがちょうどイヤイヤ期真っただ中で、対応策や周りへの配慮など、さまざまな意見を聞いてみたかったからです。

Q. スクールの内容で印象的だったこと、役に立ったことは何ですか？

- A. イライラと上手に付き合う方法(感情的になりそうなときに、歌ったり部屋を移動したり、ストレッチをするなど)。パパは子どもの目標であり、止まり木であるということ(子どもとは全力で遊び、甘えたいときは全力で甘えさせてあげる)。どうしても子ども第一になってしまうが、妻へのフォローや自分のケアも忘れないことです。

Q. スクールの参加者から学んだこと、刺激を受けたことはありますか？

- A. 参加者は20～50代までの方がおり、世代は異なっても皆同じような悩みをもっていて共感し合えました。

Q. スクールで学んで、家庭等で実践したことはありますか？

- A. 子どもの気持ちに寄り添い代弁すること、子どもには選択肢を与えること(ただし、選択肢はどちらを選んでも子どもにとってプラスの内容とする)、感情的になりそうになったら、がらっと気分を変えること、などです。子どもも同じで、イヤイヤしている時に「あっ！」と他のことに注意をそらすと効果てき面でした。

Q. スクール参加の前後で、何かご自身の変化はありますか？

- A. 子育てだけでなく、妻とのコミュニケーションやフォロー、自分へのケアも大切だと思えるようになりました。

Q. 育児をすることによる仕事への影響は何かありますか？

- A. 残業をしないように計画的に仕事をする。フレックスタイムを利用して早くに出勤し早くに帰ることで、子どもをお風呂に入れたり、寝かしつけをしたりすることができるようになりました。



Q. ファザーリング・スクールに参加したこと、またその内容についてのご家族からの反応はいかがでしたか？

- A. まずはファザーリング・スクールに参加することで、積極的な育児への参加表明となったと思います。また学んだことを妻と共有することで、育児の質が上がるだけでなく、家庭円満につながると感じました。

Q. ファザーリング・スクールに参加したことのないパパへおすすめコメントをお願いします！

- A. 会社として育休取得を推進しているとはいえ、部署や社歴、時期によってはまだまだ取得ハードルが高いところもあると思います。ファザーリング・スクールでは、仕事をしながらでも育児を積極的に行っていくための心意気やテクニックを学ぶことができ、同じ悩みをもったパパ友が会社の枠を越えてできるのも醍醐味です！

